



WORLD BANK GROUP

THE WORLD BANK
IBRD • IDA

IFC

International
Finance Corporation

MIGA

Multilateral Investment
Guarantee Agency

Multilateral Investment
Guarantee Agency

MIGA IN JAPAN



Credit to iStock

世界銀行東京事務所 多数国間投資保証機関

〒100-0011

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 14F

Tel 03-3597-6633

miga_tokyo@worldbank.org

X @MIGA

YouTube @MIGAWorldBank

LinkedIn MIGA

www.miga.org/miga-japan



Multilateral Investment Guarantee Agency

WORLD BANK GROUP

世界銀行グループは 5つの機関から構成されており、 MIGAは民間セクター支援の一角を 担っています。

国際復興開発銀行 (IBRD)

中所得国および信用力のある低所得国の政府に貸出を行います。

国際開発協会 (IDA)

最貧国の政府に無利子の融資 (クレジット) や贈与を提供しています。

国際金融公社 (IFC)

投融资や国際金融市場における資金動員、民間企業や政府への助言サービス業務を通じて、途上国の持続可能な成長を支援しています。

多数国間投資保証機関 (MIGA)

経済成長、貧困削減、生活向上のために、途上国に対する外国直接投資を促進すべく、投資家や金融機関に対し政治リスク保険 (保証) を提供しています。

投資紛争解決国際センター (ICSID)

国際投資紛争の調停と仲裁を行う場を提供しています。

「住みよい地球の上での貧困撲滅と繁栄の共有」を五機関が共有するミッションとし、各国のニーズに応じ、経済・社会の様々な分野での支援 (資金協力・知見の共有) に取り組むと共に国際公共財 (気候変動・パンデミック・脆弱国支援等) への取り組みも進めています。

Insuring Investments, Ensuring Opportunities

Credit to iStock

MIGA は、1988年の設立以来、世界銀行の民間セクター開発を担う一機関として、投資保証を通じ民間企業の発展途上国でのビジネス推進、新興途上国への対外直接投資 (FDI) を促進しています。途上国における貧困の撲滅と経済の発展においては、公的な支援だけでは足りず民間資金と技術を動員することが必要不可欠です。MIGAでは民間企業が直面する夫々の国のリスク (政治リスク・非商業的リスク) を国際金融機関として保証することで投資を実現させ、雇用創出をはじめ、給水、電気供給などの基礎的インフラの整備、

金融システムの強化、税収確保、技能や技術的ノウハウの移転、そして環境に配慮した天然資源の活用等に貢献しています。2023年度時点、27.9億ドルのポートフォリオを抱えており、地域別には最大シェアを占めるサブサハラアフリカをはじめ、比較的风险が高いとされる国での事業に対し積極的な支援を展開しています。多くの日本企業がMIGAの保証を活用し海外事業を展開しており、また設立以来、日本人が長官を担っている組織でもあります。

MIGA's Evolution

世界銀行グループは従来それぞれの機関が保証ソリューションを提供していました。それらをEvolution of the World Bank-世銀改革の一貫としてMIGAが中心となり15年ぶりの大規模な改革を行っています。

構造の集約

世界銀行グループ全体からすべての保証専門家を集め、クライアントが快適にサービスを利用し、全ての保証プログラムへのアクセスを容易に。

簡素化された包括的なプロダクト・メニュー

世界銀行グループの全ての保証を1つのメニューにまとめ、クライアントが個々のニーズに最も適した保証手段の選択を容易に。

プロセスの効率化

共通のアプローチを導入し、冗長なプロセスを排除し、保証プロセス全体で透明性と確実性をクライアントに提供し、より快適なサービスに。

アクセシビリティの向上

世界中の保証担当チームの増員、世界各地でのスタッフ・トレーニングの実施に加え、民間部門やクライアント国が世界中のどこからでも保証に容易にアクセスできるようにし、クライアントのアクセシビリティを強化。

規模の重視

インパクトの大きなプロジェクトやプロジェクト・ポートフォリオに資源を集中させるリスク・ウェイト・アプローチを適用し、リスク分析の重複を減らし、より複雑な課題への対応を可能に。

革新的な新ツール

民間セクターが直近の開発課題の解決への関与を深められるよう、革新的な新保証プロダクトの提供。

Credit to iStock

To Our Partners

MIGAは顧客やパートナーと協力し、発展途上国への国外の民間投資家からの投資資金に対する保証を通じて、民間及び公的セクターからの資金調達に貢献しています。MIGAが提供する保証の即時のおよび継続的インパクトはともに非常に大きなものです。2023年度のMIGAの保証は、8,774人の雇用を創出し、中小企業(SME)と女性が所有および経営する企業や気候関連活動などへの26億ドルの融資を可能にする一助となることが期待されています。さらに、MIGAのプロジェクトにより、5,500万人が携帯電話ネットワークへ、4,000万人がインターネットへのアクセスを獲得しました。

近年、MIGAの政治リスク保険と信用補完を含む保証への需要が増加しています。さらに、世界貿易が減速し、多くの国が保護主義的な政策を採用するにつれ、貿易金融保険が一層重要になる中で MIGA初の貿易金融保証も発行しました。MIGA独自の立場とサービスにより、官民セクターの連携が可能になります。MIGAには様々な保険ソリューションがありますが、そのすべてが政治的なリスクを管理および軽減することで民間投資を奨励し、可能にするという開発に不可欠な共通の機能を有しているのです。

我々の目標達成には、「One World Bank Group」のアプローチへの努力を強化することが必要であり、世界銀行グループの各機関が一体となって連携した取り組みをしています。その中でMIGAは気候変動、脆弱性と紛争、危機、デジタル化、ジェンダーのどの課題であろうと、民間資本の利用可能資金拡大と動員を引き続き行っています。



これに加え、MIGAは2023年7月1日から、新規プロジェクトの85%をパリ協定の目標に沿ったものにするとし、2025年7月1日からはそれを100%に引き上げる予定です。これは、MIGAの目標を世界銀行グループの気候変動行動計画に沿ったものにするためです。

また、世界銀行グループでは「Evolution Roadmap」に沿って諸改革を進めておりますが、これは理事会と株主が主導し、貧困削減と繁栄の共有に重点を置きつつ、気候変動や脆弱性などの地球規模の課題により適切に対処することを目指しています。MIGAが取り組むべき開発課題には事欠きませんが、私たち職員は、「住みよい地球の上での貧困撲滅と繁栄の共有」という世界銀行グループの共同使命に引き続き貢献していきます。民間の国境を越えた投資は、世界の貧困撲滅を大きく前進させ繁栄を広めていくでしょう。世界のあらゆる地域におけるMIGAの活動へのご支援に対し、日本のクライアントおよびパートナーの皆様には心からの感謝の意を表します。


長官
俣野弘

Development Impact

*2023年度



雇用総数年間
(正規及び非正規)

8,774
件



現地調達材

5,450
万ドル



ホスト国の税及び
手数料による収入/年

1億2,880
万ドル



発電量の拡大

1,431
GWh



インターネット
新規アクセス

4,000
万人



電力設備容量

115.8
MW



温室効果ガスの
削減貢献量

82万6,464
トン/年



支援融資金額

26
億ドル



気候変動関連の
民間資金の動員

86
億ドル





Business Details

Credit to World Bank Group

MIGAの事業内容

MIGAは民間投資家や金融機関に、政治リスク、信用補完、貿易金融保証を提供することで、途上国への対外直接投資を促進することを使命としています。

政治リスク保険 - PRI -

通貨送金・通貨兌換

保険対象の投資家にかかる融資の返済、配当、利益及び投資の売却に伴う収入を、現地通貨から保証対象通貨に兌換できない場合、並びに投資受入国政府による通貨の兌換停止または送金の停止などの行為により、保証対象通貨を国外に送金できない場合に生じる損失から守ります。

戦争・内乱

妨害やテロを含む投資受入国での軍事行動や内乱により、プロジェクト企業の有形資産が破壊されたり被害を受けた場合や事業が中断された場合、また債務についてはプロジェクト企業により貸手への返済が不可能になった場合に生じる損失から守ります。

収用

投資受入国政府が講じた、または承認した特定の措置により、保証契約者の投資の所有または支配が制限あるいは剥奪されたことにより生じる損失、及び債務についてはかかる措置によりプロジェクト会社が貸手に返済を行うことができないことにより生じる損失から守ります。直接的な収用と間接的な収用共に対象となります。

契約不履行

保険契約者またはプロジェクト事業会社と投資受入国政府が締結した契約に当該国政府が違反した場合や、契約の履行を拒絶した場合に生じる損失から保険契約者を守ります。ただし、最終的な仲裁による判断または司法による判断の遵守を求めることができない場合に限りません。

信用補完 - NH -

主に民間金融機関を対象に、政府・国営企業・地方政府向けの民間ファイナンスに対し、政府・国営企業・地方政府が支払いを怠ったときに生じる損失から守ります。補償金は、契約条件に従って、保証契約者が当該投資受入国政府・国営企業・地方政府から回収できる額に保証割合を掛けた金額が支払われます。その際、投資家は仲裁の判断を受ける必要はありません。

貿易金融保証 - TF -

貿易金融取引に関連する金融債務の不履行によって生じる損失から守ります。国際貿易には通常、輸入者と輸出者、その間で出荷と支払いを保証する信用状を発行する銀行が関与し、多くの場合、発行銀行の信用状を確認する民間の国際銀行が存在します。MIGAは通常1年以内の短期の保証プログラムを提供することで、国営銀行、国営企業、または国、地方自治体の貿易ローンに対する不払いリスクや、信用状確認を引受ける民間金融機関に対して保証を発行します。

MIGAが提供する保証は、非商業的リスク・政治リスクから投資を守り、投資家はより良い条件の資金源にアクセスできるようになります。世界銀行グループの一員であるMIGAは条約により設立された国際機関で、世界の大半の国が加盟しています。MIGAはこの独自の強みを生かすことで、プロジェクトを阻害しかねない政府による行為を抑制するとともに、投資家と政府の間に生じた問題の解決に向け効果的な支援を行うことができます。これは他にない特色であり強みとなっています。さらに、新興市場に関する豊富な知見と、環境面・社会面の取り組みに関する世界のベスト・プラクティスに関する知見の提供も、MIGAの特色の一つであり、環境・社会基準に即した案件審査を行っています。MIGAは、政治リスクを扱うほかの民間保険会社や公的機関と密接に協力し、保険引受能力の強化に努めています。MIGAは、プロジェクトに必要な非商業的リスク保険を用い、最適な形でリスクバランスを構築することで、民間企業の投資を支援して参ります。

Project Highlights

2023年に35周年を迎えたMIGAは、1988年の創設以来、総額763億ドルの保証を発行し、123ヶ国1,000件以上のプロジェクトをサポートしてきました。

インド 信用補完

MIGAは2024年度、国有企業による融資債務不履行のリスクに対し、MUFG（三菱UFJ銀行）に最長8年にわたり1億3,200万ドルを限度とする保証を発行しました。MIGAの保証付き融資は、DFCCIL（インド貨物専用鉄道公社）が実施するインド最大規模の鉄道インフラプロジェクトの設計と建設支援に使用され、全長1,840kmの貨物専用電気高速鉄道システムは、ルディアナからコルカタまで延長されます。DFCCILはインド鉄道省の完全子会社であり、貨物専用鉄道の建設、運営、維持を行っており、JICA（国際協力機構）、世界銀行からの融資に加えMIGAの保証を利用することで、DFCCILは初めて民間商業融資を受けられるようになり、資金源の多様化と、開発融資への依存を軽減することになります。MIGA保証付き融資は全長794kmの東部貨物専用鉄道と、貨物専用鉄道と物流ターミナル間の「ラストマイル」の建設完成のために使用され、高品質の貨車、高速化、より長い列車、電力・信号等の交通管理システムなど、貨物鉄道の最先端技術を通しより大きな貨物を運ぶことができるようになります。

Credit to iStock



Credit to iStock

シエラレオネ

政治リスク保険：収用、契約不履行

シエラレオネ南部州で、パイナップルをはじめとする輸出用のトロピカルフルーツの栽培、収穫、加工を行う施設の設計、建設及び運営に対し、3,600万ドルの保証を発行しています。発行から最長10年間にわたり、伊藤忠商事の子会社である Dole Asia Holdings の Sierra Tropical Limited への投資について、収用及び契約の不履行のリスクを保証しています。この「農場から食卓まで」と呼ばれるプロジェクトは、約1万3,000件の直接雇用・間接雇用を生み、地域経済を支え経済の多様化を促進すると期待され、労働者に対し技術支援や職業訓練を行うとともに、学校や診療所といった新たなコミュニティ・インフラの整備にも貢献します。このプロジェクトは、IDA諸国（低所得国）に改革をもたらすMIGAの支援の在り方に一石を投じました。MIGAは同プロジェクトへの支援に対し、自己資金に加え、IDAの民間セクター投資枠も活用すると共に、NEXI（日本貿易保険）とも連携しています。



Credit to iStock

パキスタン

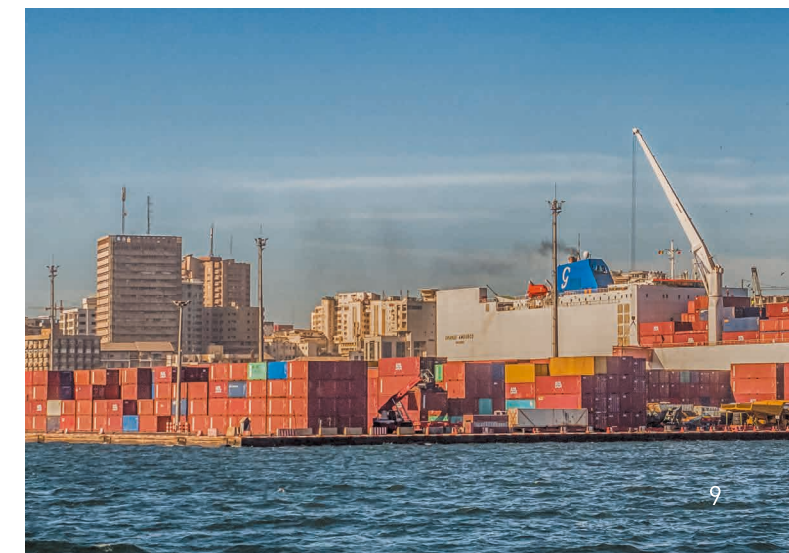
政治リスク保険：通貨兌換、収用、戦争・内乱

パキスタンにおけるHyundai自動車組立工場および関連販売店の設計、建設、運営を支援するために6,600万ドル相当の保証を発行しました。この保証は双日株式会社とパキスタン最大の複合企業の一つであるNishat Groupとの合弁会社であるHyundai Nishat Motor (Private) Limitedに対して行った投融資を対象としています。この保証は、譲渡制限、収用、戦争や内乱のリスクに対して最長15年間カバーすることができます。パキスタンにおける自動車生産は、現地で組み立てられた日本車が大半を占めており、パキスタンのインテリアトリム、プラスチック部品、鍛造品、鋳造品、機械部品、ゴム部品などを生産する現地メーカーのサプライチェーンが密接につながっていました。この投資を支援することにより、生産遅延といった問題を解決し、パキスタンとドライバーの安全に貢献しています。

セネガル 信用補完

セネガル政府のダカール港と将来のンダヤネ港のコンテナターミナル運営者であるDP World Dakarの増資に際し、英・仏・米系の市中銀行からセネガル政府向けの融資の不払いリスクをカバーするため、最大5億1,600万ユーロ（約5億5,000万ドル）の保証を発行しました。これらの港はセネガルの経済と国の将来の発展計画において重要な役割を果たしています。海岸線が700キロメートルを超えるセネガルは、アフリカのサヘル地域の最西端に位置するため、港の整備はアフリカと世界を結ぶ地域の拠点となる戦略的利点が得られます。ダカール港は、いくつかの主要な海路の交差点に位置し、西アフリカの他の港と比べ競争力のある航行時間を提供します。ダカール港への投資を支援するこのプロジェクトは発展途上国への国境を越えた民間投資を動員することで、経済成長を支援し、貧困を削減し、人々の生活を改善するというMIGAの使命に対する取り組みを示しています。これは、MIGA設立以降記念すべき1,000件目のプロジェクトとなりました。

Credit to iStock



日本政府とMIGA

日本は、MIGAにとって第二の株主として日々のMIGAの活動を支援して頂いております。また、MIGA内に設立した信託基金への拠出を通じ、日本・MIGA双方にとって戦略的に重要とされる開発課題や、難しい環境に置かれる国での案件実現に向けたMIGAの支援を可能としています。

MIGA's Trust Funds

Credit to iStock

日本の支援を受けたファンド

ヨルダン川西岸・ガザ信託基金 (WBGTF)

1997年に設立され、本基金を通じた政治リスク保険を提供することで、脆弱・紛争 (FCS) 地域であるヨルダン川西岸・ガザへの民間部門の投資と経済開発を促進しています。ヨルダン川西岸・ガザ地区は、国際通貨基金、世界銀行、多数国間投資保証機関に加盟しておらず、これら機関の加盟国が通常受けられるファイナンスが限定的であることから、本基金を活用し民間資本動員を支援しています。

再生可能エネルギー推進基金 (RECTF)

2021年11月に設立された信託基金で、Climate Finance (気候変動ファイナンス) への民間投資を促進させるべくミニグリッドシステム、送電システム、蓄電池など再生可能エネルギープロジェクトを支援することを目的としています。再生可能エネルギー案件において、ファースト・ロス・レイヤー、再保険、流動性サポート、プロジェクト開発等の支援が可能となります。

ウクライナ復興・経済支援信託基金 (SURE TF)

2023年に日本がアンカードナーとなり立ち上がりました。ウクライナの戦争に伴う被害の大きさに鑑み、ウクライナ政府に対する公的な財政支援に加え、経済活動を維持しインフラを再建するためには民間資本を動員する高レバレッジの解決策が必要不可欠となっています。MIGAはSURE TFにプールされたドナー資金と独自のリスク資本を組み合わせることで同国での保証発行を可能にし、ウクライナの経済復興を支援して参ります。



Careers



2022年より駐日代表を仰せつかっております高橋です。世界銀行グループは途上国における貧困撲滅と経済の発展を目的に活動している組織ですが、それを達成する為には、公的な支援だけでは足りず民間資金と技術を動員することが必要不可欠です。そのため、世界銀行グループの中でMIGAとIFCが民間企業をお客様とし、企業が途上国や新興国で事業をする上でのサポートを展開しています。日本企業が海外で展開するビジネスをMIGAとして支援させて頂く機会も多く、今般はそれを支える日本人スタッフの活躍も案件を成立させる上での鍵となっています。

世界銀行グループは、ダイナミックな仕事を多様な国からきた同僚と働くことのできる素晴らしい環境です。MIGAで働く日本人は世銀グループ内での異動に加え、民間金融機関、商社、メディア、他の国際機関等、様々な経験を積んだプロフェッショナルが自分の核となる専門性を武器に幅広い部署で活躍しています。必ずしも直接の業界経験である必要はなく、多様なポストが世界銀行/MIGAの採用関連情報に出ますので是非ご覧になってみてください。日本のプロフェッショナルの皆様と共に世界の課題解決に取り組むことを楽しみにしております。

駐日代表 高橋奨

キャリア紹介

小出愛 / Ai Koide - 保険引受専門官

2019年入行。日系企業の新規案件開拓の支援や保険引受における案件のエクゼキューションを担当。就任前は、豪州系インフラファンドにてタンクターミナル会社の買収・運営業務や、日系総合商社のアジア地域における発電事業開発、LNG・LPG受入ターミナルの開発やM&A、入札対応業務に従事。MIGAでは、主に発展途上国における電力・インフラセクターをはじめとした世界各国の様々な案件のプロジェクトマネージャーとして、案件組成・ストラクチャリング、保険対象リスクの評価、世界銀行グループにおける稟議対応や各国政府との調整・協議、保険契約書の交渉を牽引。途上国開発にダイレクトに貢献できる分野において、自らのファイナンスの専門性をベースに、社内外の様々なステークホルダーや専門家と協議・折衝しながら案件を進めることに日々大きなやりがいを感じつつ、業務に励んでいる。慶應義塾大学経済学部、ジョンスホプキンス大学公共政策大学院卒 (インフラファイナンス専攻)。



小栗充博 / Atsuhiko Oguri - パートナーシップ専門官

2022年入行、2023年より現職。地域開発銀行などの国際機関や、各国の関係機関・企業等とのパートナーシップ構築や、MIGAが設立した信託基金の資金調達やドナーエンゲージメントを担当している。大学卒業後、共同通信社での報道記者を経て、日系開発コンサルティング会社にてケニアでのアグリビジネス開発に従事。その後、世界銀行の災害リスクファイナンスチームで、農業分野での災害リスクファイナンス導入を目的とした各国政府向けのためのキャパシティビルディングの設計・運営に貢献した。MIGAでは、民間投資家、民間金融機関、国際機関、各国政府等幅広いステークホルダーとの接地面の広さと柔軟性を生かし、世界銀行グループの保証機能拡大に向けた戦略的パートナーシップの構築に携わりたいと考えている。東京大学教養学部、ジョージタウン大学公共政策大学院卒 (国際開発政策専攻)。

